

特集 先進地行政視察レポート

滝川市議会では、先進的な取り組みをしている自治体の施策やアイデアを視察する「行政視察」を2年に1度常任委員会ごとに行っています。今回の特集では、実際に総務文教常任委員会と厚生常任委員会が学んだ行政視察先での先進的な事例や成果をご紹介します。

《 総務文教常任委員会 》

総務文教常任委員会は、市の行政運営や教育・文化などの分野を担当しています。

今回は、防災、教育関連の視察、國學院大學への表敬訪問等を行いました。視察で得た知見を今後の滝川市の防災施策や教育施策に活かし、地域の安全と教育環境の改善に努めていきます。

防災 (東京都福生市)

防災食育センター

【視察目的】

滝川市地域防災計画や小・中学校の食育の参考とする。

【施設概要】

平成23年に発生した東日本大震災を契機に、国有地無償貸与並びに防衛省の補助・協力を受け、食料供給拠点、避難所、災害備蓄庫などの各機能を兼ね備えた総合的な災害時対応施設として総事業費約40億円をかけて整備されました。

- 敷地面積：9,807.58㎡
- 建築面積：3,847.82㎡
- 延べ面積：4,844.84㎡
- 規模構造：鉄骨造・RC造 地上2階 耐火建築物
- 調理能力：4,000食（最大4,500食）



備蓄倉庫



給食を作る様子

【応急給食機能】

平時は市内小中学校10校に給食を提供する調理センターとして機能しています。災害発生時には約15,000人分のおにぎりや汁物などの応急給食を3日間提供することができる備蓄体制を整え、炊飯システムや自動成型機を導入し、1時間に1,800個ものおにぎりが製造可能で、徹底した省人化・省労力化を図りつつ、緊急時の迅速かつ効率的な応急給食の提供が可能となっています。避難所として約310名の収容ができ、毛布、救護用テント、簡易トイレ、非常用発電機などを備えた防災備蓄倉庫でもあり、また、調理風景の見学や防災・衛生管理、食育に関する学びの場を提供しています。

教育 (東京都)

JETの運用実態について

【視察目的】

東京都のJETの運用実態や問題点などを把握し、グローバル人材の育成を学ぶ。

【運用実態】

東京都教育委員会では、常勤の外国語補助員を「JET」、時間給の外国語補助員を「ALT」と呼び、それぞれの学校に配置することで、異文化交流を含め、グローバル人材の育成に取り組んでいます。平成25年度から*JETプログラムを活用し、段階的に配置を拡大、令和6年の夏からは、すべての都立高等学校において1校あたり2名の配置を実現させました。

JETの配置拡大を通じて、授業内外での英語を用いたコミュニケーション機会の増加や、オンライン英会話の実施等を組み合わせることにより、「使える英語力」の育成の推進を目指しています。



【研修実施状況】

自国と日本の文化の違いを認識した上で、学校の一員として様々な状況に適切に対処できるようにするため、来日直後のJETに対して、東京都の教育制度や日本での生活に関する知識を身につけてもらうための研修を実施しています。また、学校内での教員や生徒と関わる中で発生しうる、様々な状況を想定したケーススタディも実施しています。

*「JETプログラム」は8ページの「用語を理解して議会をもっと身近に！」を参照

ト

総務文教常任委員会
10/20～10/22
厚生常任委員会
10/27～10/29



総務文教常任委員会



厚生常任委員会

《 厚生常任委員会 》

厚生常任委員会は、福祉・医療・子育て・健康づくりなどの分野を担当しています。

今回は、子育て支援や高齢者の福祉施策、健康づくりの推進、医療体制や社会的養護などのテーマについて視察を行いました。視察で得た知見を活かし、市民が安心して暮らせるまちづくりを着実に前進させていきます。

子育て支援

(兵庫県明石市)

あかしこども広場

【視察目的】

保護者の利便性を重視した子育て支援拠点や、相談機能の一体化について学ぶ。



【施設概要】

駅前の商業施設「パピオスあかし」内に整備された子育て支援施設で、誰もが気軽に立ち寄れる“日常的な支援拠点”として機能しています。親子が自由に遊べる交流スペースや子育て相談窓口が一体的に配置され、保護者が子どもを見守りながら専門スタッフに相談できる点が特長です。市民は遊び場を無料で利用でき、市内児童の一時保育は1時間あたり400円です。

高齢者福祉

(兵庫県明石市)

認知症あんしんプロジェクト

【視察目的】

高齢者が安心して暮らし続けられるための取り組みについて学ぶ。



【事業概要】

認知症の早期発見と支援体制の強化を目的とし、認知症診断費用の全額助成や、在宅で生活する認知症高齢者には「認知症サポート給付金」の支給など、経済的負担の軽減と早期受診の促進を図っています。「あかしオレンジ手帳」の交付により、市民・事業者・行政が連携した見守り体制の構築も進めています。

健康増進

(奈良県天理市)

健康ポイント事業

【視察目的】

市民の健康増進のための取り組みについて学ぶ。



【事業概要】

市内在住の20～69歳を対象とした、市民の健康づくりを促進するための制度です。がん検診や特定健診の受診、ウォーキングなどを組み合わせ、「健康ポイント」を計3点以上取得すると、地域通貨「ichica」が1,000ポイント付与されます。参加は先着300人に限定されますが、スマートフォンアプリ「prairie」やカードで記録管理を行えます。

社会的養護

(大阪府大阪市)

社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪乳児院

【視察目的】

関係機関との連携による乳児の包括的な養育体制について学ぶ。



【施設概要】

様々な事情で家庭での生活が難しい0～2歳児を受け入れる乳児院で、保育士・看護師・栄養士・心理士などの多職種が連携し、24時間体制で養育を行っています。併設する済生会中津病院との医療連携により、医療的ケアを必要とする乳児にも対応可能です。さらに、里親支援やショートステイ、地域交流など多様な支援事業を展開し、子どもが健やかに成長できる環境づくりを目指しています。